



“捨てない経済”

サーキュラー エコノミーとは？

～資源とエネルギーの循環を考える～

2022年 **11月16日(水)** 14:00-16:15
東京国際フォーラムホールC + ライブ配信

11月25日～12月2日
オンデマンド配信も開催
参加費無料

パネリストプロフィール (50音順)



岩元 美智彦
Iwamoto Michihiko

株式会社 J E P L A N
取締役 執行役員会長

1964年鹿児島県生まれ。卒業後に就職した繊維商社では営業職に携わるなか、容器包装リサイクル法の制定を機に繊維リサイクルに深く携わる。2007年1月日本環境設計(現: J E P L A N)を設立。資源が循環する社会づくりを目指し、リサイクルの技術開発だけではなく、メーカーや小売店など多業種の企業とともにリサイクルの統一化に取り組む。2015年アショカ・フェローに選出。



田中 加奈子
Tanaka Kanako

アセットマネジメントOneシニア・
サステナビリティ・サイエンティスト

専門は気候変動緩和策や省エネ・エネルギー効率性向上に関わる技術・システム・政策の設計と評価。英国ティンダル気候変動研究センター、国際エネルギー機関(IEA)、JST低炭素社会戦略センター、産総研ゼロエミッション研究戦略部を経て現職。1999年から気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第3次～第6次報告書まで代表執筆者など担当。内閣府や文科省、経産省、環境省審議会委員、日経脱炭素委員会委員など歴任。東京大学大学院工学系研究科。工学博士。



所 千晴
Tokoro Chiharu

早稲田大学 理工学術院
創造理工学部教授

2003年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了後、2015年より早稲田大学理工学術院教授(現職)。2021年4月より東京大学大学院工学系研究科教授(兼任・現職)。日本学術会議会員、経済産業省中央鉱山保安協議会、産業構造審議会、総合資源エネルギー調査会各委員などを歴任。専門は資源循環工学、化学工学、粉体工学。資源循環や環境修復に寄与する分離技術に取り組む。平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(理解増進部門)受賞。令和4年度(第27回)リサイクル技術開発多賞受賞。



畠山 陽二郎
Hatakeyama Yojiro

経済産業省
産業技術環境局長

1992年4月通商産業省(現経済産業省)入省。2009年12月内閣官房国家戦略室企画官、2010年6月内閣官房副長官秘書官、2012年12月資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力政策課長、2015年7月資源エネルギー庁電力・ガス事業部政策課長、2018年7月資源エネルギー庁長官官房総務課長、2019年7月大臣官房総務課長、2020年7月商務・サービス審議官などを経て、2022年7月より現職。



宮田 知秀
Miyata Tomohide

ENEOS株式会社
代表取締役 副社長執行役員
社長補佐(製造部・工務部・
技術計画部・製油所・製造所・
水素事業推進部・水素事業技術部・中央技術研究所・
潤滑油カンパニー・FCサポート室)
水素事業推進部・水素事業技術部 管掌

1990年東京工業大学原子力工学修士課程修了。同年東燃入社。2011年東燃ゼネラル石油 取締役 和歌山工場長。2012年常務取締役川崎工場長。2016年専務取締役 精製・物流本部長。2017年JXTGエネルギー 取締役 常務執行役員 製造本部副本部長。2022年 ENEOSホールディングス・ENEOS 取締役副社長執行役員 社長補佐。同年10月より現職。



安居 昭博
Yasui Akihiro

サーキュラーエコノミー研究者

1988年生まれ。Circular Initiatives&Partners代表。世界経済フォーラムGlobal Future Council on Japanメンバー。ドイツツール大学「Sustainability, Society and the Environment」修士課程卒業。アムステルダムを拠点に活動し、日本へサーキュラーエコノミーを紹介。2021年6月「サーキュラーエコノミー実践～オランダに探るビジネスモデル」出版。2021年より京都在住。京都市委嘱 成長戦略推進アドバイザーほか、複数の企業へアドバイザー・外部顧問として参画。日本各地での実践と理論の普及が高く評価され、「青年版国民栄誉賞(TOYP2021)」にて「内閣総理大臣奨励賞(グランプリ)」受賞。



関口 博之
Sekiguchi Hiroyuki

経済ジャーナリスト

コーディネーター

1979年一橋大学法学部卒業、NHK入局。経済部記者として官庁・日銀・流通・商社などを担当、解説委員に。BS「経済最前線」、総合テレビ「経済羅針盤」、「おはよう日本・おはBiz」キャスターなどを歴任。2011年から13年にはNHK北九州放送局長。2022年よりフリーのジャーナリストとしてエネルギー問題、SDGs、グリーン・イノベーション、企業戦略などを幅広く取材。現在、NHK名古屋局で「東海すこいぜ!」キャスターも。

【会場までのご案内】

※お申込みは裏面をご覧ください



2022年11月16日(水) ■ 開場 13:30
■ 開演 14:00

東京国際フォーラムホールC 千代田区丸の内3-5-1

参加証メール画面もしくはプリントアウトしたものをご提示ください。

※開演間際は、受付の混雑が予想されます。時間に余裕をもってご来場ください。

| | |
|-----|--|
| JR | 有楽町駅国際フォーラム口より徒歩1分 東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅4番出口とB1F地下コンコースにて連絡) |
| 地下鉄 | 有楽町線: 有楽町駅D5出口よりB1F地下コンコースにて連絡 日比谷線: 銀座駅B10出口より徒歩7分/日比谷線A2出口より徒歩5分 千代田線: 二重橋前駅1番出口より徒歩5分/日比谷線A9出口より徒歩7分 丸ノ内線: 銀座駅C9出口より徒歩5分 銀座線: 銀座駅B10出口より徒歩7分/京橋駅3番出口より徒歩7分 三田線: 日比谷駅B3出口より徒歩5分 |

東京国際フォーラムでの開催に際し、公的機関が定めるガイドラインに基づき、感染拡大防止対策に万全を期した上で実施いたします。感染状況により、ご来場を中止させていただく場合もございます。その場合は事前にご連絡をいたします。

“捨てない経済” サークュラーエコノミーとは？

～資源とエネルギーの循環を考える～

14:00 主催者挨拶

齊藤 猛

「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」実行委員長
ENEOS株式会社 代表取締役社長 社長執行役員

14:10 パネルディスカッション

“捨てない経済”
サーキュラーエコノミーとは？
～資源とエネルギーの循環を考える～

■パネリスト (50音順)

岩元 美智彦 田中 加奈子
所 千晴 島山 陽二郎
宮田 知秀 安居 昭博

■コーディネーター

関口 博之

16:15 終了予定

「地球から資源を掘り起こし、製品に加工し、使い終わったら捨てる」- 従来型の経済モデル(リニア型の経済)は、製品を作る過程において多くのエネルギーを消費しながら、大量の廃棄物やCO2を排出することを必然としてきました。最終的には、資源の枯渇というリスクを招きかねない一方通行の経済モデルです。

そのようなリスクを踏まえて議論が進んでいるのが、本シンポジウムのテーマでもある「サーキュラーエコノミー」です。資源を何度も繰り返し利用し、かつ、そこに新たな付加価値を生み出す循環型経済の実現を目指す動きが世界に広がっています。廃棄物の排出を前提としない新しいビジネスモデルが次々と生まれており、オランダ・アムステルダムのように、2050年までにサーキュラーエコノミーへの完全移行を目指す都市も現れています。

一方、日本においては、各種のリサイクル法の整備、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組みの深化、環境技術力の向上など、サーキュラーエコノミー実現に向けた高いポテンシャルを有しています。また、2020年には経済産業省から「循環経済ビジョン2020」が発表され、官民挙げての取組みが盛り上がりを見せています。

加えて、2022年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻は、資源小国・日本として、生活の安定という面でも、「サーキュラーエコノミー」への早急な移行を真剣に考えなければいけない大きな契機となりました。同侵攻は、世界的な資源の不足と価格高騰を引き起こし、日本が深刻な供給リスクに直面したことは記憶に新しいところです。

本シンポジウムでは、「サーキュラーエコノミー」がもたらす新しい社会やビジネスの姿を、現在実践されている様々な事例とそこから見えてきた課題を整理します。製品の循環のみならずエネルギー面における資源循環、例えばCO2を資源に変換するカーボンリサイクル等についても議論を深める予定です。

企業だけではなく消費者も含めた社会全体として、日本において、どのように「サーキュラーエコノミー」を根付かせ、豊かさを担保していくのか、本シンポジウムで専門家・アカデミア・企業・行政の各視点から議論を進めます。

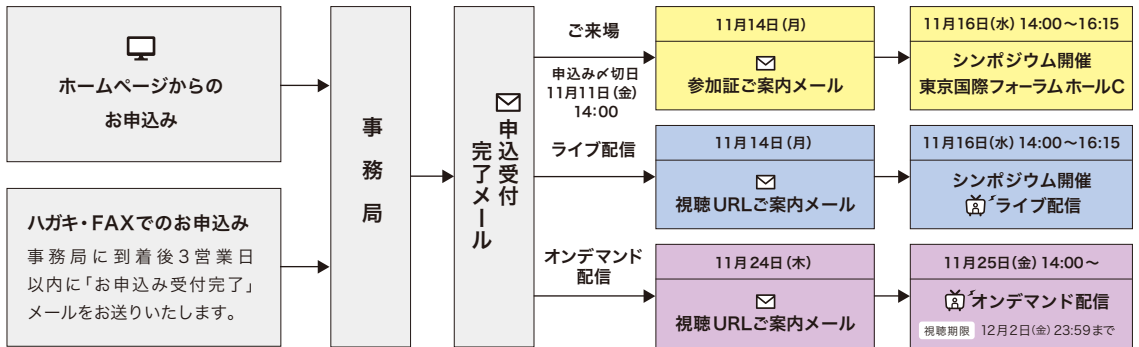
より良い未来を築いていく方法を、このシンポジウムで是非一緒に考えてみませんか。皆さまのご参加をお待ちしております。

ご参加の流れ

事務局の「お申込み受付完了」メールを受信いただいて受付完了となります。

お申込み完了後はメールでのご連絡となりますので、必ずメールアドレスのご記入をお願いいたします。

なお、応募多数の場合は先着順になりますのでご了承ください。



ご来場の申込み締切日は、11月11日(金)14:00までとなります。

1メールアドレスで、お申込み1名様とさせていただきます。(メールアドレスはPCでもスマホでも構いません)

視聴申込方法

ご視聴方法はお申込み方法にかかわらずメールにてご案内いたします。info@energysymposium.jpよりお送りしますので、ドメイン指定受信の設定をされている方は解除をお願いします。

来場/配信
参加費無料



ホームページ ▶ <https://www.energysymposium.jp> | FAX ▶ 03-3456-5627

ハガキ ▶ 〒105-0014 東京都港区芝3-15-14 ヒキタカ芝公園ビル 6F 「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」参加登録事務局 宛

FAX 申込書

FAX・ハガキでのお申込みの際には下記の個人情報の取り扱いについてご了承いただく必要があります。

★個人情報の取り扱いについて：お申込みいただいた個人情報は、ご視聴までの各種ご案内、次年度以降のご案内など、当シンポジウムに関する事務手続きと運営に必要な範囲でのみ使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

| | | | |
|---|--------------------|---|---|
| ふりがな お名前 | 電話 番号 | メール アドレス | ご希望の視聴方法 (複数選択可) <input type="checkbox"/> ご来場 <input type="checkbox"/> ライブ配信 <input type="checkbox"/> オンデマンド配信 |
| 勤務先 | 部署名 ----- 役職 | 住所 (〒 -) | 個人情報の取り扱い について <input type="checkbox"/> 同意します |
| Q. 本シンポジウムをお知りになったきっかけは? <input type="checkbox"/> 本DM <input type="checkbox"/> E-mail案内 <input type="checkbox"/> 公式HP <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 新聞/雑誌 <input type="checkbox"/> ENEOSの公式Facebook <input type="checkbox"/> 会社から <input type="checkbox"/> 同僚/知人から | | Q. サークュラーエコノミーについてお知りになりたいことや、パネリストにご質問などあればお書きください。 [] | |